



特集

令和8年度 予算紹介

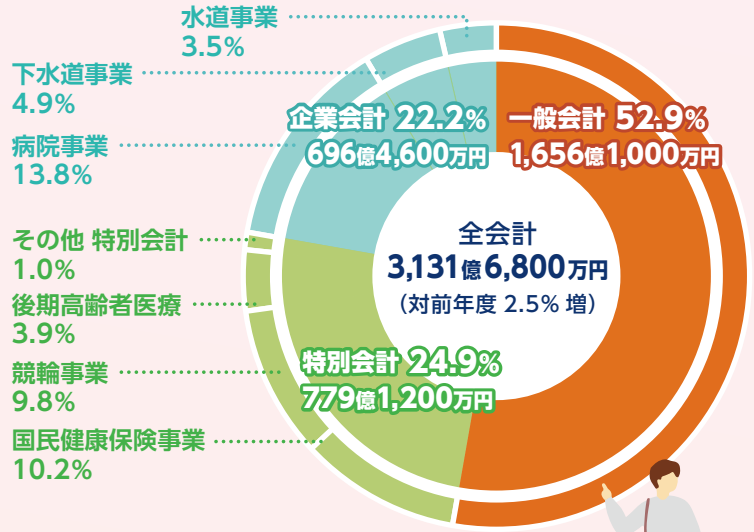
今年第6次豊橋市総合計画後期基本計画がスタートします。新しいまちづくり戦略のもと、重点的に推進する4つの取組みをはじめ、分野別計画を着実に推進します。

問合せ 財政課 (☎51・2140) HP 10519

詳しい資料は
こちらから



予算の見どころ
PDF



重点的に推進する主な取組み

安心に包まれた子育て・教育環境づくり

子どもたちの居場所 「とよはし陽だまりスペース」の新設

学校に行きづらさを感じる子どもたちが安心して過ごせる居場所として、地域の大人が見守る「とよはし陽だまりスペース」を市内3か所に新設します。



365万円

希望に満ちた仕事づくり

半導体を核とした次世代の産業創出

市内企業の半導体関連事業への参入や半導体・センサの活用による事業開発を支援するほか、市外の半導体関連企業の誘致を行うことで、次世代の産業創出を目指します。



6,666万円

定住につながるまちの魅力づくり

アジア・アジアパラ競技大会 (愛知・名古屋2026大会)の開催を支援

聖火リレーや採火式、市内小・中学校でのアジア文化に関する授業を通じて大会への気運を高めるほか、パラスポーツ体験会などを実施し、パラスポーツの普及を促します。



3,047万円

暮らしを支える都市空間づくり

被災後に早期に復興できる まちづくり計画の策定

南海トラフ地震などの大規模な災害に備え、被災リスクが高い地域を対象に、早期の復興に向けた事前復興まちづくり計画の策定に取り組みます。



595万円

市制施行120周年記念事業

さまざまなイベントを実施

市制施行120周年を祝う記念式典をはじめ、豊橋市出身の作家 佐野妙さんと雨森たきびさんによる記念講演会や学生が創るアニバーサリーイベントなど、豊橋の魅力を再発見し、豊橋の未来を考えるきっかけとなるさまざまなイベントを実施します。





分野別計画に基づく主な取組み



豊かな人間性を備え、未来を創る人が育つまち

小・中学校などへの給食の無償提供

市立小・中学校などの児童・生徒を対象に給食を無償で提供することで、子育て世帯の経済的な負担を軽減し、子育てしやすい環境づくりを推進します。



11億2,366万円(6億4,783万円※1)

※1()内は令和7年度補正予算に計上し繰り越す額

活力みなぎり、はつらつと働けるまち

農業の新たな担い手の誘致に向けた調査

農業の担い手の高齢化と後継者不足が深刻化する中、持続可能な地域農業を実現するため、農業法人などの誘致に向けた調査を行います。



1,000万円

命の安全、心の安心が確保されたまち

最新のデジタル技術を活用した救急救命体制の強化

マイナ保険証による受診歴などの情報収集や、チャットアプリを活用した複数の病院への一斉受入れ要請を行うことで、救急活動を効率化・円滑化します。

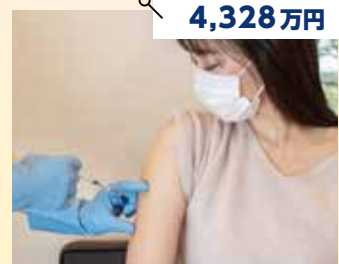


96万円

みんなで支え合い、笑顔で健やかに暮らせるまち

RSウイルス感染症 定期予防接種を開始

乳児が感染すると重症化のおそれがあるRSウイルス感染症を予防するため、妊娠中の方への予防接種を開始します。



4,328万円

互いを尊重し合い、心豊かに暮らせるまち

馬越長火塚古墳群の史跡公園整備に向けた基本計画の策定

北部地域の活性化につながる史跡公園づくりに向けて、有識者や地元住民の意見を取り入れながら、2年で整備基本計画を策定します。



303万円

魅力にあふれ、いきいきとにぎわいあるまち

豊橋駅西口駅前広場の再整備の可能性調査

豊橋駅西口駅前広場や、周辺の交通環境改善に向けた調査を行い、再整備の方向性を検討します。



1,271万円

自然と共生し、地球環境を大切にすまち

豊橋田原ごみ処理施設建設の推進

廃棄物を適正かつ安全・安定的に処理するため、環境にやさしく、エネルギーと資源を有効に活用できる「豊橋田原ごみ処理施設」の建設を進めます。



116億310万円

暮らしの基盤が整った、便利で快適なまち

快適な暮らしを支える道路の整備

明海町・老津町28号線などの幹線市道の整備を進めるほか、地域の安全確保や国道1号などの渋滞緩和を図るため、東松山町と大岩町を結ぶ道路の概略設計を実施します。



9億9,147万円